



2019年11月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本郷町 2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集人/松森 正樹
印刷/有わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句

「命の泉はあなたにあり
あなたの光に、わたしたちは光を見る。」(詩編36編10節)

秋のチャリティーイベントがおこなわれました!

第22回神戸YMCA国際・チャリティーラン2019が行われました



11月4日(振休・月)に、素晴らしい秋晴れのもと、しあわせの村にて第22回神戸YMCA国際・チャリティーラン2019が開催されました。“あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます。”をキャッチフレーズに、ランナーも来場者も奉仕者もみんなが笑顔でハッピーな時間を共に過ごすことができました。ランニングの各種目には約500名のランナーが集まり、大会の運営にはYMCAの会員の皆様やみなと銀行の皆様など地域から約200名の方が奉仕をしてくださいました。

また、今回も小林祐梨子さん(北京オリンピック女子5,000m出場、女子1,500m日本記録保持者)にお越しいただき、ランニングセミナーを開催していただきました。子どもから大人までたくさんの方が参加し、参加者は笑顔に満ちあふれながらイベントを楽しみました。

そして、今年は、新たな試みとして、フィールド内で、『夢アートイベント』を開催しました。これは、「こいのぼり」と絵本「スイミー」の世界観が融合した、児童文化交流事業「スイミープロジェクト」とASD(自閉スペクトラム症)啓発のためのキャンペーン「LIUB(ライト イット アップ ブルー)」が同じ想いでつながったものです。走り終えたランナーの皆様が、癒しと希望の色“ブルー(青)”で彩られたこいのぼりに、それぞれの夢を描きました。なお、このこいのぼりは、各地域で作られたスイミーこいのぼりたちと一緒に2020年5月5日こどもの日頃に神戸市内で大空高く、舞い上がる予定です。

最後になりましたが、多くの協賛企業、協賛者および協力団体の皆様のお力添えにより、今回も無事に大会を終えることができました。ご支援、ご協力いただき心より感謝いたします。

西神戸YMCA学園都市バザー ワイワイまつり2019



10月19日(土)に西神戸YMCA学園都市バザーワイワイまつりが開催されました。数日前から雨予報でしたが、当日は曇り空と少雨となり、なんとか屋外で開催することができました。そのような天候にもかかわらず、約1000人の来館者、協力者を得ながら盛況のうちに終わることができました。各出店

ブースでの売上げもさることながら、今年もなんと抽選券が売完。売上は1,056,900円、収益は620,212円となりました。たくさんの来館者、ボランティアのサポートが得られ、国際協力募金、災害被災地支援、地域の子育て支援という使途に向かって、チャリティーバザーを実施いたしました。バザーに参加された皆様から、笑顔や喜びの声をたくさん聞くことのできたチャリティーバザーとなりました。多くのご協力とご支援、本当にありがとうございました。



第41回 神戸YMCAチャリティーゴルフ

第41回チャリティーゴルフ大会が、10月23日(水)に兵庫カンツリー倶楽部にて開催されました。

当日は、絶好のゴルフ日和のなか、32名の方々にご参加いただき交流を深めつつゴルフを満喫することができました。

当日参加できなかった方からもチャリティー協力金や物品をいただきました。

収益金から諸経費を除いた約18万円は、神戸YMCA青少年指導者養成支援金として、また一部を東日本大震災・熊本地震の復興支援として捧げさせていただきます。このように多額の支援金を頂戴することができ心から感謝しております。

大会での募金とは別に「神戸YMCA子ども奨学金」への募金をお願いしましたところ、16,000円のご寄付をいただきました。皆様のご協力に感謝いたしますと共に、このお志がひとりでも多くの子ども達の成長につながるよう努力して参ります。

会場をご提供いただきました兵庫カンツリー倶楽部様からも多大なご支援、ご協力を賜りましたことも感謝を込めてご報告させていただきます。

今後とも、神戸YMCAの諸活動に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第42回チャリティーゴルフ大会は、2020年5月に千刈カンツリー倶楽部での開催を予定しております。ご予定に加えていただくとともに、お友達やお知り合いの方をお誘いいただければ幸いです。



第37回西宮Yわいカーニバル開催

10月20日(日)に素晴らしい秋晴れのもと、西宮Yわいカーニバルが開催されました。当日は来場者とボランティアを合せて約800名が西宮YMCAに集い、懐かしい先生との再会を喜んだり、蚤の市での買い物を楽しんだり、多くの笑顔があふれるカーニバルとなりました。喜びと楽しみを分かち合う1日を過ごした結果として、今年度は612,635円の売上げがあり、材料費などを差し引いた利益(約40万円)は、国内災害支援(台風15・19号被害)、YMCA国際協力、障がい児活動支援、地域活動支援等に用いさせていただきます。カーニバルにご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



ホテル学科「特別プログラム」

ホテル学科では、10月初旬に年に1度の「特別プログラム」を実施しました。

このプログラムは、学生同士の交流、そして自分達でレクリエーションのプログラムを企画して運営することが目的です。今年はいあわせの村にてバーベキューをし、その後は学年毎に考えたレクリエーションを楽しみました。ただ楽しむだけではなく、自分の役割は何なのかを考えながら動きました。お天気にも恵まれ、食べて動いて良い時間になりました。普段とは違う環境は、新たな交流も生まれて学生達のリフレッシュとなりました。さあ、残りの後期も頑張りましょう！



神戸YMCA高等学院 教育セミナー

「中高生に対する保護者・先生のかかわり方」というテーマで2回にわたり開催した今年の教育セミナー。第1回は10月5日(土)「こどもの未来を広げるために～人生100年時代の子育て～」と題して勝木洋子先生(神戸親和女子大学教授)に、第2回は11月9日(土)「こどもの可能性は無限大～枠にとられない教育～」というテーマで中林和子先生(フリースクール For Life 理事長)に、それぞれお話しいただきました。いずれも盛況・好評で、お子さまのかかわり方に悩みを持ってられる保護者の方、中高生にかかわられている先生・教育関係者の方ら、多くの方にご参加いただき、ともに学ぶ場を持つことができました。



第20回アジア・太平洋YMCA大会 (2019年9月2日(月)～6日(金))

場所: 日本YMCA同盟 国際青少年センターYMCA東山荘(静岡県御殿場市)

第20回アジア・太平洋YMCA大会(以下APAY大会)、および第4回ユース・アッセンブリー(以下YA)が開催され、22の国と地域から約400名が参加しました。参加者の内約3分の1はユースの参加で、様々な国際的、あるいは経済的な困難がある中で、交流を深められたことは非常に素晴らしいことでした。今回のAPAY大会では、YMCA全体として気候変動対策に取り組もうという意識の高まりから、環境保護の呼びかけや、資料や案内に紙を使用しないペーパーレスの取り組みが行われました。APAY大会、YAを通して、開かれた安心できる場所として、参加者が多くの交流や意見交換ができました。

神戸YMCA国際委員 廣瀬献児さん執筆



YMCA奨学金受給者決定

専門学校日本語学科の学生うち5名が、各奨学金に選出されました。神戸YMCA奨学金は、日本語学科で長く講師をされていた方のご友人の寄附により設けられた奨学金です。また、神戸YMCA国際奨学金は国際協力募金から設けられた奨学金です。

彼らは熱心にYMCAでの日本語学習に取り組むだけでなく、YMCA活動にも積極的に取り組んできましたことから、受給者として選ばれました。今回の奨学金受給後、チャリティーランやYMCA幼稚園バザーに参加し、ボランティア活動を行っています。これから、さらに多くのYMCA活動に参加し、それぞれの活躍を期待しています。



心弾ませて ～運動会～



9月22日(日)に西神戸YMCA幼稚園の運動会が行われました。

開会の時は小雨模様だったのですが、体操・玉入れとプログラムが進み子どもたちの元気な姿やご家族の方々の応援の声とともに気がつけば雨は上がっていました。

年少組の「行こう!サーカスがやってきた!」ではピエロが落とした玉を観客の年少さんが拾ってあげます。いたずら象が邪魔しに来ますが無事に玉を拾うことが出来ました。

年中組は「海のけいさつ『YMCAポリス』」になり、ある島の姫と宝を奪った海賊に勇敢に立ち向かいました。

年長組は、『クラス対抗リレー』トラック1周バトンに思いをこめて力いっぱい走り抜きました。

保護者の皆さんも♪YMCA♪の曲に合わせて玉入れとダンスをノリノリで楽しんでくださいました。

未就園児のかけっこ・小学生の綱引きもあり、来場して下さった皆さんで盛り上げてくださり、観て楽しい!やって楽しい!運動会でした!



神戸市立東灘体育館



神戸市立東灘体育館では、安心・安全に利用して頂くことはもちろん、地域に根差した活動にも力を注いでいます。東灘区では総合型地域スポーツクラブの活動が活発に行われ、体育館ではその支援も業務の一旦として担わせていただいています。地域との連携という点では、近隣の整骨院の先生を体育館に招きイベントを開いて頂いたり、小学校に出向きイベントの手伝いや先生方に向けた市民救命士の講習会などを行っています。また、体育館に通いにくい世代や地域を対象とした親子とその親など幅広い世代が楽しめる運動プログラムのイベントをユースプラザKOBE・EASTと連携して実施しています。地域の一員として、体育館を利用していただく方々以外にも健康づくりや運動をするきっかけとなる様々な取り組みを行っています。

これからも多くに親しまれる体育館として今後もその繋がりを大切に、互いによりよくなっていくような運営と地域を目指していきたいと思ひます。

YMCA西神戸学童保育クラブ

現在、西神戸YMCAでは1～3年生が所属する「YMCA西神戸学童保育クラブ」に110名、4～6年生が所属する「ワイっ子クラブ」に52人が在籍しています。普段は、西神戸YMCAの3階フロアを学童とワイっ子が共に利用していて、みんなが大きな声で「ただいま!」と挨拶して帰ってくる様はとても賑やかで活気がある雰囲気です。3階には、勉強部屋、おやつ部屋など大小合わせて8部屋あります。子どもたちがそれぞれの用途や興味に合わせて部屋を利用したり、近隣の公園に遊びに行きます。また、隣にはウエルネスセンターがありますので、学童に来て多くの子どもたちはウエルネスセンターのプログラムに参加し、習い事の一つのように利用しています。これから子どもたちが安心して活動することができる学童保育を目指して歩みたいと思ひます。



シリーズ こくさいのまど 66

1844年にジョージ・ウィリアムズがYMCAを創立してから、2019年で175周年。その節目のお祝いとこれからのを考えるYMCA175というイベントが8月4日(日)から7日(水)までロンドンにて開催されました。

会場はロンドンの中心街から少し離れたところにある展示場でした。メインホールでは、世界中から集まった3000人以上のYMCA関係者が盛大なセレモニーでYMCA175周年を祝いました。そしてスポーツスペースやいくつかの会議室を使って、それぞれの国がワークショップを持ち寄ってその知識やマインドを共有したり、SDGsに紐づけて社会問題を話し合ったりすることで、YMCAのこれまでやってきたことの意義、これからの役割について考えました。

参加者はほとんどがローカルなYMCAで活動している方で、普段の現場での取り組みを違う国のスタッフと共有したり、お互いの活動が世界規模の社会問題とどのように繋がっているのかを議論したりと、YMCAが持つネットワークの価値を再確認できる機会となりました。

第4期チェンジエージェント 中山 迅一



メインホールでのセレモニーの様子。スピーチ、音楽、ダンスで盛り上がりました。

YMCAチェンジ・エージェントとは

ユースが国際的な繋がりを構築し、彼らがYMCAと自分たちが暮らす社会を変えていけるようにグローバルな視点やスキルを身に付ける、世界のYMCAのユースを対象としたトレーニングプログラムです。世界YMCA同盟による、このプログラムは今年4期目を迎えています。

灯台

Light House

No.25

総記事 井上真二



「All for One! (オールフォーワン)」

この夏、搭乗した飛行機内で偶然に上映されていた映画(原題 Breakthrough ブレイクスルー)についてお話しします。真冬の氷が張る湖で友だちと遊んでいた14歳の少年が悲しい事故に遭うという内容です。人種問題、親子関係、学校生活、教会活動など、少年家族の日常にある様々な問題が背景に描かれています。少年を取り巻く人と人との絆、思いやりの連鎖、信仰の力が、やがて「奇跡」を起こしていきます。調べますと、この映画は米国で実際に起きた実話で、Fox2000ピクチャーズという映画会社により映画化されました。同社による初のキリスト教映画だそうで、社長によると「これは信仰に強く根差した作品にするという前提で、私たちが果敢に取り組んできた最初で最後の映画です。」と紹介されていました。この映画を観終えた後、聖書に書かれてある「信じる者に働く神の力」という言葉が心に湧きました。

話は変わりますが、今秋、日本代表の大活躍により大いに盛り上がったラグビーワールドカップ。大会期間中、メリケンパークには神戸港を背に青空の下、パブリックビューイングが設営されていました。会場へ続く道には、著名な方々が神戸製鋼のミスターラグビーこと故平尾誠二さんに寄せたメッセージパネルや栄光のユニフォームが並んでおり、平尾さんを偲ぶ人々の姿は、その功績をたたえる花道を作っているかのようでした。中でも京都伏見工業高校ラグビー部監督山口良治さんの「信は力なり」というタイトルのパネルには、仲間(人)との出会いの尊さ、信じ合い支え合う事の尊さが簡潔な文章で書かれてありました。「One for All, All for One!」一人はみんなの為にみんなは一人の為に、又は一人はみんなのためにみんなは一つの目的の為にと訳されているラグビーの美しい言葉があります。善き出会い、善き交わりこそ、奇跡なのかも知れません。

神戸市民クリスマス



『うたう、クリスマス』をテーマに、第61回神戸市民クリスマスを12月13日(金)に日本基督教団神戸教会で17:30~19:00に実施します。聖ニコラス天使園のみなさんによる聖劇、賛美と祈りのときがあります。大人も子どもも、どなたでもぜひご参加ください。昨年度までと内容や実施時間が異なりますのでご注意ください。

また、神戸市民クリスマスに捧げられました協力献金と協賛金は、運営のための経費を差し引き、災害救援者支援、神戸の冬を支える会への活動支援などに用いられます。なお、当日もそれらのために会場にて席上献金があります。

国際協力募金



今年も秋から冬にかけてYMCA国際協力募金の強化月間が始まりました。YMCA国際協力募金は、世界120の国と地域に広がるYMCAのネットワークを通じて、一人ひとりのいのちが大切にされる、ポジティブネットのある豊かな社会を創るために用いられています。未来を生きていく子どもたちが、未来に夢や希望をもち、自分を大切に生きていくことができるように、そして、自分も他の人も大切に思う気持ちを育めるように。また、差別や争いのない社会で生きていくことができるように。今年も皆様とともに、YMCA国際協力募金を通して、国内やアジアの子どもたち、ユースの成長のために、ご協力いただきたくお願い申し上げます。



2019年度 募金目標3,400千円

- ◎アジアの農村支援・青少年育成 630千円
- ◎パレスチナ難民への支援 68千円
- ◎海外からの日本語学習者支援 480千円
- ◎国内外の国際分野における指導者育成 1,080千円
- ◎国内外の災害緊急支援 550千円
- ◎日本YMCA同盟拠出金・事務局経費 592千円

感謝・寄附

(敬称略、順不同) (前号掲載以降~9/30現在)

寄附・献金

原寛、兼田幸子、上杉徹、松永敬子、小川光夫、西宮ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、さんだワイズメンズクラブ

この他にも、国際協力募金、東日本震災復興募金等、多数の募金をいただいております。感謝をもってご報告します。

個人消息

◆赤ちゃん誕生おめでとうございます◆

- 9/26 奥田慎司さん(あかしこども広場) 彩(いろは・女の子)ちゃん
- 11/14 藤田良祐さん(西宮ブランチ)・千佳さん(YMCAちとせ保育ルーム)
- 誠之介(せいのすけ・男の子)くん

健やかに成長されることを心からお祈りします。



ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077

西神南YMCA
須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場

☎078(993)1560
☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355

